

# 島根県中学校体育連盟

## —— これまでのあゆみ

競技団体主催の競技会が乱立する中で、中学校が主体性を強くするため、昭和27年に島根県中学校体育連盟が結成された。

島根県中学校総合体育大会は、昭和42年に松江を主会場として、第1回大会が開催された。以降、松江・出雲・石見の3地区で輪番開催となっていた。平成10年からは猛暑の中での大会運営、宿泊施設の許容量の問題、競技役員の確保の困難さなどにより、競技によっては会場を固定することとなった。なお、この大会は令和6年度、58回目の開催となったが、その間に昭和58年には山陰豪雨により、そして令和2年には新型コロナウイルス感染症により、2度の大会中止を余儀なくされたことも忘れてはならない。

また、県中体連発足当時に54,902人だった島根県内の中学生は令和5年には16,965人に減少し、市郡中体連数も18から、そのいくつかが合併し11となっている。

このような変化の中で持続可能な県中体連のあり方が求められている。

## —— 現在の状況

令和5年度より地区大会と市郡予選を統合し、「ブロック大会」として県大会・県総体の予選大会をスタートさせた。同時期にスポーツ庁が示す地域移行の推進期間に入り、「地域クラブ活動」の中体連主催大会への参加が認められた。これは中学生の多様なニーズに応えるとともに、スポーツとの関わりの機会を保証するものと言える。

## —— これから

令和5年度、7ブロックでスタートしたブロック大会は、令和8年度には更にブロックが統合され、5ブロックとなる。

少子化や、中学生スポーツを取り巻く環境が大きく変化する中で、中学生の多様なスポーツ活動への参加の機会を保証するため、関係機関と協力して、今後も対応していきたいと考えている。



平成30年 第48回全日本中学校バレーボール選手権大会